

第5期 雄武町総合計画 後期実施計画書 兼 事務事業評価調書

様式1

No. 10010369

政策目標	4	つるおい・雄武～生活環境・生活基盤の充実～	会計区分	1	一般会計	【全体計画内容】※後期実施計画期間外の計画期間を有する場合のみ記載
基本施策	19	消防・救急・防災体制の強化	事業優先度	A		
単位施策	1	災害予防対策・危機管理対策の強化	政策事務分類	3 単独自治事務(その他)		
事業名	河川復旧事業		見直し年度			
事業期間	平成27年度～平成28年度		担当課	10 建設水道課		
事業主体	雄武町		関係課	#N/A		
事業指標	河川復旧箇所		ハード/ソフト 事業区分	1 ハード事業		
事業目標	4箇所		関係例規・法令名			
住民参加	無		関係個別計画名			
住民協働						

全体計画 事業内容		平成 25 年度 事業内容	平成 26 年度 事業内容	平成 27 年度 事業内容	平成 28 年度 事業内容	平成 29 年度 事業内容
計 画 内 容	【平成27年度】			・元沢木川、音稲府川河岸復旧 ・無名川(沢木地区)復旧	・御西川復旧 かごマットA=219㎡	
	【平成28年度】					
	・元沢木川、音稲府川河岸復旧 ・沢木地区無名川復旧					
	・御西川復旧 かごマットA=219㎡					
計 画 事 業 費	事業費(千円)	21,500	0	0	9,000	12,500
	財源内訳					
	国庫支出金	0				
	道支出金	0				
	地方債	0				
	その他	0				
一般財源	21,500			9,000	12,500	
実 績 事 業 費	事業費(千円)	21,331	0	0	8,965	12,366
	財源内訳					
	国庫支出金	0				
	道支出金	0				
	地方債	0				
	その他	0				
一般財源	21,331			8,965	12,366	
特定財源の名称		(実施内容等)	(実施内容等)	(実施内容等)	(実施内容等)	(実施内容等)
	【評価・実績】			・元沢木川河岸復旧 ・音稲府川河岸復旧 ・無名川(沢木地区)復旧	・御西川復旧(9月補正) かごマットA=219㎡	
		※事務事業評価結果	※事務事業評価結果	※事務事業評価結果 A-終了	※事務事業評価結果 A-終了	※事務事業評価結果
前期計画からの継続 (継続無し)	年度目標値			3箇所		
	年度達成率	#DIV/0!	#DIV/0!	100%	99%	#DIV/0!
第6期計画への継続 (継続無し)	全体達成率	0%	0%	42%	99%	99%
	備考欄					

事業名	河川復旧事業	評価者	管理職	職氏名	建設水道課長	田原慎也
		評価者	作成者	職氏名	土木管理係	大庭 悟

様式1
平成28年度実施
平成29年度評価

■事務事業の目的・内容(Plan・Do)

【誰、何が(対象)】	河川	望ましい指標(目的達成状況を最も端的に表す理論上の成果指標)	河川復旧面積／河川復旧面積	
【抱える課題やニーズは】	河川の背後地の被災拡大	指標(指標計算式／解説)	指標値及び実績値	
【どのような状態になることを目指したのか(意図)】	河川背後地の被災防止	① 河川復旧面積／河川復旧面積	目標年度	平成28年度
			目標値	219 m ²
【その結果、どのような成果を実現したいか】 ※成果＝目的	早期復旧による被災の拡大防止	②	実績値	219 m ²
			達成度	100.0 %
【内容(どのような手段で何を行ったか)】	①民間業者による工事の実施	平成28年7月に発生した大雨に伴う町道及び河川復旧につきましては、9月定例議会において予算補正し、入札により民間業者に工事を発注し実施した。	目標年度	平成28年度
			目標値	
			実績値	
			達成度	#DIV/0! %

■事務事業の評価(Check)

(1)事務事業の必要性(町民ニーズ、社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか。当該事業を実施しない場合の支障、既存事業との機能重複や見直しによる対応可能性)

必要	<input type="checkbox"/>	義務的なもの	町が管理している河川であるため、被災した箇所の復旧は、町が担う必要がある。
必要／概ね必要	<input type="checkbox"/>	全部	
／課題あり	<input type="checkbox"/>	一部	

(2)事務事業の有効性(期待する効果が得られたか)

有効	設定した目標値の達成状況		当該事業を実施したことで背後地の被災の拡大防止が図られた。
	<input checked="" type="checkbox"/>	達成	
有効／概ね有効	<input type="checkbox"/>	ほぼ達成	
／課題あり	<input type="checkbox"/>	下回る	

(3)事務事業の効率性(コストに見合った効果が得られたか、計画上のコストを下げる工夫をしたか)

効率的	判断の理由		背後地の被災の拡大防止ができたことは、効率的であると判断する。
	<input checked="" type="checkbox"/>	事業費抑制	
	<input type="checkbox"/>	人員削減	
効率的／概ね効率的	<input type="checkbox"/>	時間短縮・作業軽減	
／課題あり	<input type="checkbox"/>	その他	

(4)事務事業の公平性

公平	判断の理由		被災箇所の復旧を実施したことにより、背後地の被災の拡大防止が図れたことは、公平であると判断する。
	<input type="checkbox"/>	受益者負担がある	
	<input type="checkbox"/>	受益者負担がない	
公平／概ね公平	<input type="checkbox"/>	受益が一部に偏る	
／公平でない	<input checked="" type="checkbox"/>	その他	

■その他特記事項(アンケート調査など外部評価を受けた場合は、その旨記入)

■総合評価【A～D】

A:計画通り事業が進んでいる。目標が達成された。今後も計画通り事業を進めることが適当 等
B:ほぼ計画どおりに進んでいるが目標を達成していない。事業の進め方に改善が必要 等
C:当初の計画を達成できていない。事業規模、内容、実施主体等の見直しが必要 等
D:事業効果が表れていない。事業の統合、休・廃止の検討が必要 等

自己評価(一次評価)	評価会議評価(二次評価)	町長評価(三次評価)
A		
9月に補正した事業については、復旧すべき箇所が完了したことから、目標どおり達成された。		

今後の展開方向
(Action)

終了		
平成28年度事業終了		

※展開方向の区分

- 継続／現状維持又は拡充又は縮小又は統合又は内容の見直し・変更
- 終了 ○休止 ○廃止